

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2012-519197(P2012-519197A)
 【公表日】平成24年8月23日(2012.8.23)
 【年通号数】公開・登録公報2012-033
 【出願番号】特願2011-552368(P2011-552368)
 【国際特許分類】

A 0 1 N 27/00 (2006.01)

A 0 1 P 17/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 27/00

A 0 1 P 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)R-クルクメンを含むまたはR-クルクメンから成る組成物を供給するステップと、
 (b)前記組成物を、1回または複数回、複数の作物植物に添加するステップと、
 を含む、コナジラミを防除する方法。

【請求項2】

組成物が、さらにパラ-シメン、ガンマ-テルピネン、アルファ-テルピネン、アルファ-フェランドレン、ジギベレンおよび/または7-エピ-ジギベレンを含むまたはから成る、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

(c)ベータ-フェランドレン、リモネンおよび/または2-カレンから選択される1種または複数種の誘引剤化合物、を含むまたはから成る組成物を供給するステップと、

(d)ステップ(c)の前記組成物を、1回または複数回、1つまたは複数のトラップ植物および/またはトラップ材に添加するステップと、
 をさらに含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

組成物が液体である、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

組成物が揮発性液体である、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

組成物が、天然起源の植物のヘッドスペース組成物ではない、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記組成物が、(a)に記載された前記化合物もしくは(c)に記載された誘引剤化合物の1種のみまたは2種のみ、を含むまたはから成る、請求項1から6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記組成物を、(b)において前記作物植物に添加する、および/または前記組成物を支持

材に添加し、前記組成物を含む支持材を前記作物植物の上もしくは間もしくは近くに配置することにより、(d)において前記トラップ植物もしくはトラップ材に添加する、請求項1から7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

コナジラミを忌避するための、R-クルクメンを有効成分として含む、またはR-クルクメンから成る組成物の使用。

【請求項 10】

コナジラミを忌避するための、R-クルクメン、ならびにS-クルクメン、パラ-シメン、ガンマ-テルピネン、アルファ-テルピネン、アルファ-フェランドレン、ジンギベレンおよび/または7-エピ-ジンギベレンから成る群から選択される少なくとも1種の化合物を含む組成物の使用。

【請求項 11】

組成物が、天然起源の植物のヘッドスペース組成物ではない、請求項9または10に記載の使用。

【請求項 12】

R-クルクメン、ならびにS-クルクメン、パラ-シメン、ガンマ-テルピネン、アルファ-テルピネン、アルファ-フェランドレン、ジンギベレンおよび/または7-エピ-ジンギベレンから成る群から選択される少なくとも1種の化合物を含む組成物。

【請求項 13】

天然起源の植物のヘッドスペース組成物ではない、請求項12に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項12または13に記載の組成物を含む固体支持材。

【請求項 15】

吸汁性または吸血性昆虫有害生物忌避剤組成物の調製のためのR-クルクメンの使用。

【請求項 16】

R-クルクメンが、S-クルクメン、パラ-シメン、ガンマ-テルピネン、アルファ-テルピネン、アルファ-フェランドレン、ジンギベレンおよび/または7-エピ-ジンギベレンの1種または複数種と組み合わせられる、請求項15に記載の使用。

【請求項 17】

前記吸汁性昆虫有害生物がコナジラミであり、吸血性昆虫有害生物がカまたはユスリカである、請求項15または16に記載の使用。